

3月11日東日本大震災発生から 5月13日宮城県図書館再開までの道のり

平成23年3月11日(金)午後2時46分、宮城県牡鹿半島沖を震源とするマグニチュード9.0 最大震度7を記録する、観測史上最大の地震が日本列島を襲いました。この地震により宮城県は沿岸部を中心に壊滅的な被害を受けましたが、宮城県図書館も例外ではありませんでした。所蔵してある多くの資料が落下し、それ以外にもガラス及び室内壁面石版の一部落下、閉架書庫内の電動書庫の故障、壁面ボードの破損などの被害がありました。加えて4月7日(木)の余震により、さらに被害状況は拡大し、当初は4月下旬再開の予定が、結果的に5月13日まで延期することとなりました。

今回の震災によって、約2か月間という長期間にわたって休館することになり利用者の皆様方には、大変ご不便をおかけ致しましたが、開館するまでの過程についてご報告します。

3月11日(金)午後2時46分

地震発生



(1) 人的被害 なし

被災時 利用者約350名、職員98名
(県関係職員、業務委託業者合わせて)

(2) 建物等被害 総額約6,000万円

●建物・工作物関係

館内壁面の大型ガラス、石板等の破損・落下、剥離その他
エスカレーター、エレベーター自動停止
書架・書類棚、保管棚等の転倒、損壊(電動書架ほか)
外構関係の一部破損(一部地盤沈下、崩落など)

●システム関係

主な館内システム・ネットワークの大きな故障なし

●図書資料関係

図書資料等(105万点)のほとんど落下

●ライフライン関係

電気：直ちに停電、3時間後自家発電に切り替え。
3月13日に復旧。

水道：停電に伴い断水。3月20日復旧。

ガス：直ちに供給停止。3月30日復旧。

3月12日(土)

- 破損箇所の確認。階移動を伴わない後片づけ、停電中のため、明るく安全な箇所の開架整理開始。

3月15日(火)

- 職員、臨時職員等全員の無事を確認。
- 13日までの作業状況と今後の作業予定の確認。

3月17日(木)

- 組込作業の終了したもの。
 - 1階視聴覚資料開架書庫 ●2階児童資料開架書庫
 - 3階一般図書資料開架書庫・貴重資料書庫
 - 4階郷土資料開架書庫・視聴覚資料開架書庫・児童資料開架書庫

3月23日(水)

- 開架書庫において詳細作業始める。

●16日以降職員による宿直勤務開始。



職員の声

●資料を書架に戻す作業を3段階に分けて行いました。

- ① 配列を考えずに書架に戻す作業(組込作業)
- ② 大体の配列を行う作業(詳細作業)
- ③ 完全な配列を行う最終作業(詳細確認作業)

書架と書架の間が本の山で足を踏み入れることが出来ませんでした。とにかく資料を書架に戻して一歩踏み出すことが大事でした。



librarian's selection

図書館員から読書のすすめ

資料奉仕部 久光 洋一

私は元々高校の数学の教員である。数学が好きな人、数学が得意な人は、あまり読書をしないという印象があるが、そういう私もあまり読書をしない人間であった。ただ時々コンビニ等で気になる本があると買って読む程度であった。

その頃の本を並べてみると、性格に関する本やものの見方の本、人生訓などを扱った本が多く、本の題で選んでいたのである。改めて著者を見てみると、齋藤茂太の本が多いのに気づく。松下幸之助が書いた本もよく読んだ。

1年前の4月に宮城県図書館に赴任してからは、石田衣良の本を読むようになった。最初のきっかけは、本屋で「美丘」を手にとったことである。昨年連続ドラマとしてテレビで放映されたのだが、私はドラマを見ていない。石田衣良の本をもっと読んでみたいと思い、図書館から「池袋ウエストゲートパーク」を借りて読んだのだが、石田衣良ワールドに引き込まれていく自分を感じた。これほど熱中して本を読んだのは人生で初めてであり、宮城県図書館にある石田衣良の本はほとんど全部読み終えたのである。一人の作者

本を手にとってみよう

の本をこんなに続けて読んだのは初めてのことである。

人それぞれ興味を持つ本が違うのは当然である。本屋や図書館で偶然手に取った本によって、いろいろなことに出会えることがあるので、ぜひ本を手にとってみてください。自分の興味がそそられるような本を手にとってみてください。何かに出会えるかも。

本屋に行くと、何らかのコメントがついていることがある。そのコメントを見て本を選ぶのも一つの方法ではないかと思う。宮城県図書館でも、「新着図書案内」や「私の一冊」展示などを行ったり、それぞれの階で特設コーナーを設置して本を紹介していますのでご利用ください。

こんな本を選びました

『なぜか「感じのいい人」ちょっとしたルール』

斎藤茂太著[三笠書房]

『なぜか「人の心をつかむ人」の共通点』

斎藤茂太著[三笠書房]

『「この人のためなら」と思われる人の共通点』

齋藤茂太著[ぶんか社文庫]

『物の見方 考え方』

松下幸之助著[PHP文庫]

『指導者の条件』

松下幸之助著[PHP文庫]

『池袋ウエストゲートパーク』I～VIII 外伝

石田衣良著[文藝春秋]